

殺

四年 10
 筆順 ノ、マ、糸、糸、殺
 オン サツ・サイ・セツ
 クン ころいす

成り立ち



ときに投げつけてころす「ぶき」を投げる意味を表した「殺(投年383)」と、切りたおす木に×じるしをつける意味を表した「糸」とを組み合わせて作った字です。

「木を切りたおすように、人をころすこと」を表した字です。【例】殺傷、殺害、殺生。

人を殺すことはその人をこの世から「なくす」ことであり、「けす」ことですから、「なくす」「けす」の意味に使われます。【例】相殺、抹殺。

〔サツ、サイは漢音で、セツは呉音である。セイという呉音もあるが用例は少ない。〕

使い方

▽生き物をむやみやたらに殺すことは、よくありません。害虫を殺すのは、しかたがありませんが、罪もない生き物は、やたらに殺さないでくださいね。

熟語例

- ▽殺傷(殺したり、傷つけたりすること。)
- ▽殺害(殺すこと。「通り魔事件で、人が殺害された」などというふうには、つかいません。)
- ▽殺生(生き物を殺すこと。また、「ひどい行い」の意味にもつかわれます。「そんな殺生なことをするなんて、とんでもない」などというふうには、つかいません。)
- ▽相殺(差し引きして、なくすこと。「プラスとマイナスで、相殺して、ゼロになる」などというふうには、つかいません。)
- ▽抹殺(消すこと。また、存在を認めないこと。「意見を抹殺されてしまった」などというふうには、つかいません。)
- ▽殺意(殺そうとするきもち。「あまりのひどいしうちに、つい殺意をいだいた」などというふうには、つかいません。)

使い方

- ▽風邪をひいたようなので、お医者様に診察をしてもらいました。
- ▽朝顔の観察をしました。観察の結果を日記に書いてみました。朝顔の成長のようすが、よくわかりました。

熟語例

- ▽診察(医者が、病人やけが人の体を注意して、調べること。)
- ▽視察(その場へ行って、目で見て、よく調べること。「調査官が現地を視察しました」などというふうには、つかいません。)
- ▽観察(物をよく注意して、調べること。)
- ▽察知(思いやって知ること。「嵐が来る気配を察知して、動物たちは、すばやく避難しました」などというふうには、つかいません。)
- ▽推察(推しはかって、考えること。「推察する所、あの人は、ぼくたちの仲間に入りたらしい」などというふうには、つかいません。)

察

四年 14
 筆順 ナ、夕、夕、察
 オン サツ
 クン

成り立ち



家の形を表した「宀」と、「お祭り」という意味を表した「祭(年3304)」とを組み合わせて作った字です。

家の先祖のお祭りしたいせつな行事なので、手おちのないように、「注意して調べる」のがあたりまえです。それで、「家」と「祭」とを組み合わせて、「注意して調べろ」という意味を表しました。【例】診察、視察。

また、「深く考える」「思いやる」という意味にも使います。【例】察知、推察。